

日本エム・イー学会平成13年度第3回理事会議事録

日時：平成13年10月12日（金） 13：30～16：00

会場：学士会分館8号室

<出席者>

会 長：佐藤俊輔

副会長：上野照剛，辻 隆之

理 事：安藤譲二，稲田 紘，荻野和郎，梶谷文彦，神谷 暲，菊地 眞，楠岡英雄，佐藤正明，辻岡克彦
土肥健純，仁田新一，林紘三郎，保坂栄弘，星宮 望，南谷晴之，山本克之

監 事：千田彰一

大会長：湊小太郎（高橋代理・第41回），内山明彦（第15回秋季）

特別委員長：赤澤堅造（HP）

支部長：木竜 徹（甲信越），中村政俊（九州）

幹 事：野村泰伸

事務局：高柳 建

<欠席者>

理 事：堀 正二

監 事：戸川達男

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成13年度第2回理事会議事録（13-3-2）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され、全件を承認した。この結果、正会員7名増で3,562名、準会員2名減で3,09名となった。維持会員数は変動なしで36社58口である。（13-3-3）
4. 企画：南谷理事より、生体医工学サマースクールの企画説明がなされた。同スクールは電子情報通信学会MEとバイオサイバネティクス研究会、計測自動制御学会生体生理工学部会と本学会の合同開催の予定で、ME、生体医工学の研究推進のための大学院生を中心とした若手の育成を目的とする。来夏（8月初旬）第1回を富山大学（佐々木和男教授）で開催予定。稲田理事より、テーマ設定・規模に関する質問があり、南谷理事より、規模は30～50名程度、講師3～5名、仮題「生体へのアプローチ・発明、発見のよろこび」を考えていることが説明された。開催予算援助に関しては、電子情報通信学会、SICE部会も準備中で、各学会30万円ずつとしたい旨の説明があり、承認された。
5. 論文誌：山本理事（岡田編集委員長代理）より、学会論文誌名変更に伴う新しい表紙について編集委員会原案が提出・説明された。提案された論文誌英文名称は **Journal of Japanese Society for Medical and Biological Engineering** であったが、BME誌との区別が困難等の理由により、最終的に **Transactions of the Japanese Society for Medical and Biological Engineering** とし、表紙日本語にも生体医工学とともに日本エム・イー学会論文誌と明記しBME誌の日本エム・イー学会雑誌と区別する案が承認された。尚、郵便関連の事務的処理のため、論文誌に対して、過渡的には従来通りBMEの名称を併記する。また、BME誌の英文名称として、**Journal of the Japanese Society for Medical and Biological Engineering** を使用することを編集委員会に対して提案することとなった。（追加資料2）
6. 選挙管理：辻岡理事より、エム・イー学会選挙管理委員会案ならびに役員選挙日程案が提出され、承認された。尚、開票は倉敷で行う。（13-3-6）
7. 選奨：土肥理事より、平成13年度選奨委員会案が提出され、承認された。（13-3-7）
8. ME技術教育：稲田理事より、2001年9月9日に第23回第2種ME技術実力検定試験が行われ、受験者数は約3254名、内814名が合格（合格率26.9%）であることが報告された。試験結果確定直後であるため合格者名簿の作成は本理事会に間に合わなかったが、合格発表の迅速化のため名簿無しで合格を承認することとした。尚、試験の平均点は例年より6点減であったが、合格判定は例年通り平均点を基準として行った。（追加資料2）
9. ME研究推進：梶谷理事より、昨年度につづき、本年度も（来年度分の）科研費特定領域の申請を行うこと、内容は、**in silico human, e-biology** を採り入れたフィジオーム関連で、MEを主体とすること、来月文部科

学省に提出予定であることが報告された。

10. 第 15 回秋季大会：南谷理事（内山大会長代理）より，準備状況として，以前の会告から多少変更したプログラム（演題総数約 90，詳細は BME 誌に掲載予定），予稿集の体裁，部数，助成（中谷電子計測技術振興財団），後援団体，寄付（日本光電，東芝医用システム，日立）等が報告された（13-3-10）。
11. 第 41 回大会：湊大会プログラム委員長（高橋大会長代理）より，大会準備状況（第 3 報）がなされた。演題申し込み期間は 2001 年 11 月 13 日～12 月 11 日，採否通知は 12 月 21 日，採用演題原稿締め切り 2002 年 1 月 22 日。原稿は PDF で提出，予稿集は CD-ROM 化する。詳細は学会論文誌 Vol.15, No.6 に掲載。（13-3-11）
12. 第 16 回秋季大会：中村九州支部長より，準備状況として，第 16 回秋季大会は，九州地区で，医療情報学会連合大会と同時開催され，開催主旨として「社会ニーズに基づく新しい幅広い研究分野の発展を求めて」を考えていること，大会開催は平成 14 年 11 月 14-16 日，会場アクロス福岡（福岡市内）を予定していること，予算案等が報告された。ME 研究推進委員会委員が承認された。
13. その他
 - ・ 維持会員増強のために日医協登録企業リストの要請をだした。
 - ・ 学会の新しいホームページ(HP)のアップ作業中で，正式運用開始は今月中の予定。
 - ・ HP の更新に関して維持会員に対して行ったアンケートに対して，36 社中 12 社の回答を得た。学会 HP から維持会員企業に対してリンクを張ることにに関して概ね了解が得られた。
 - ・ 菊地理事（国際委員長）から，IFMBE が脳研究に関係する国際 ME の技術的課題を検討するとして Nerem, Jaron 両氏が中心になって Neuro-engineering のワーキンググループを作ることにあたり各国からメンバーを出して欲しいとの要請があり，日本からは八木哲也先生(大阪大学)に参加していただくことにした旨の報告がなされた。
また，2003 年の国際 ME 学会はオーストラリア，2006 年は韓国，香港，イスラエルのいずれかで開催予定であることが報告された。
 - ・ 上野副会長から，学術会議に関連して，科研費の複合領域は新たに総合領域となり，ME 関連の医用生体工学は，分科から，医用生体工学，生体材料学，医用システムの細目となったこと，また，ME フォーラムが来年 1 月 16 日に山上会館で開催される予定であること等が報告された。

（配布資料）

平成 13 年度第 2 回理事会議題

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 13-3-2 | 平成 13 年度第 2 回理事会議事録（案） |
| 13-3-3 | 平成 13 年度第 3 回理事会入退会審査対象者 |
| 13-3-6 | 日本エム・イー学会・選挙管理委員会ならびに役員選挙日程案 |
| 13-3-7 | 平成 13 年度選奨委員会 |
| 13-3-10 | 第 15 回日本エム・イー学会秋季大会 |
| 13-3-11 | 第 41 回日本エム・イー学会大会予告（第 3 報） |
| 追加資料 1 | 日本エム・イー学会論文誌表紙案（第 5 審） |
| 追加資料 2 | 第 2 3 回第 2 種 ME 技術実力検定試験実施報告（第 8 報） |